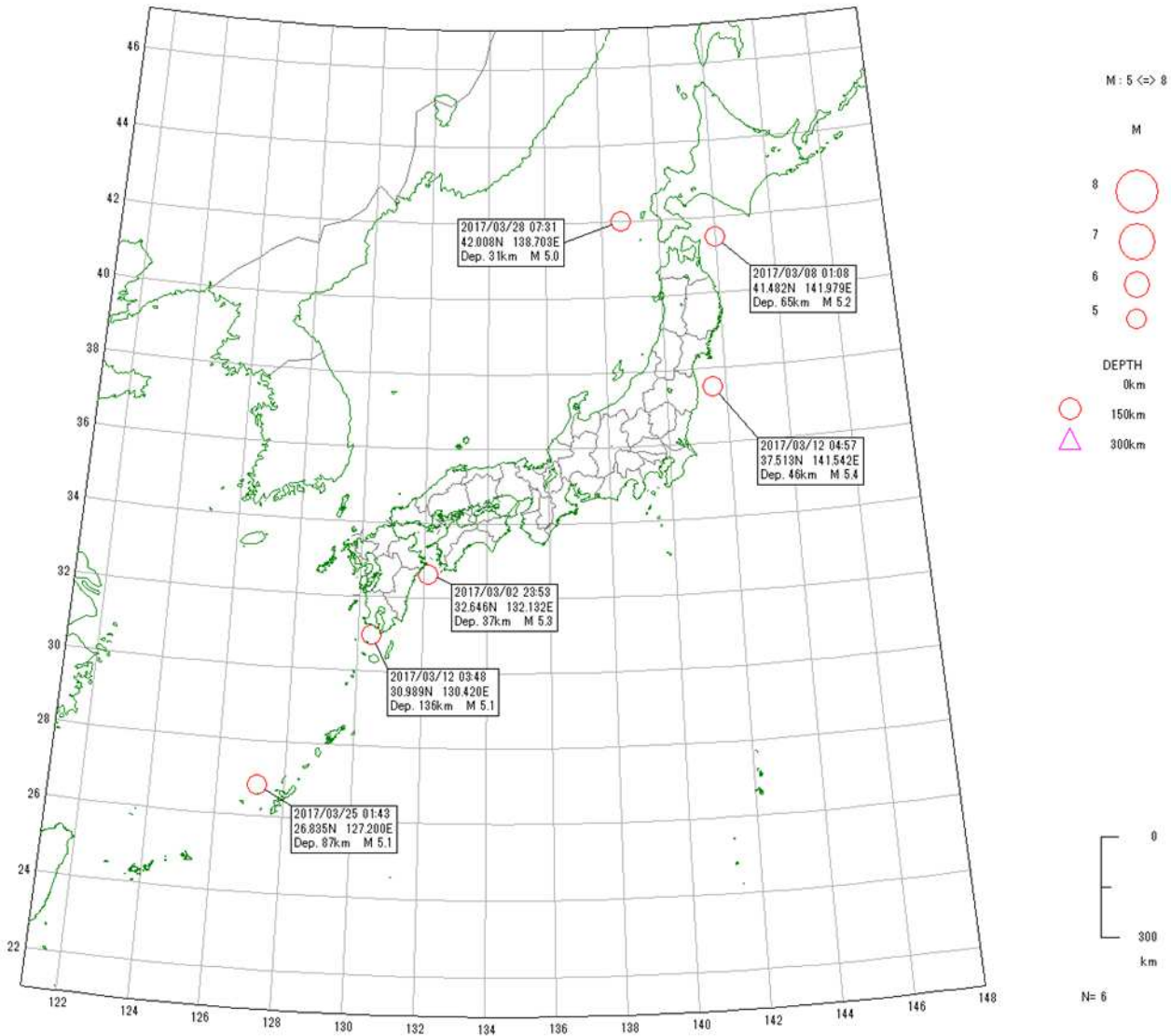


**2017年3月の地震活動**

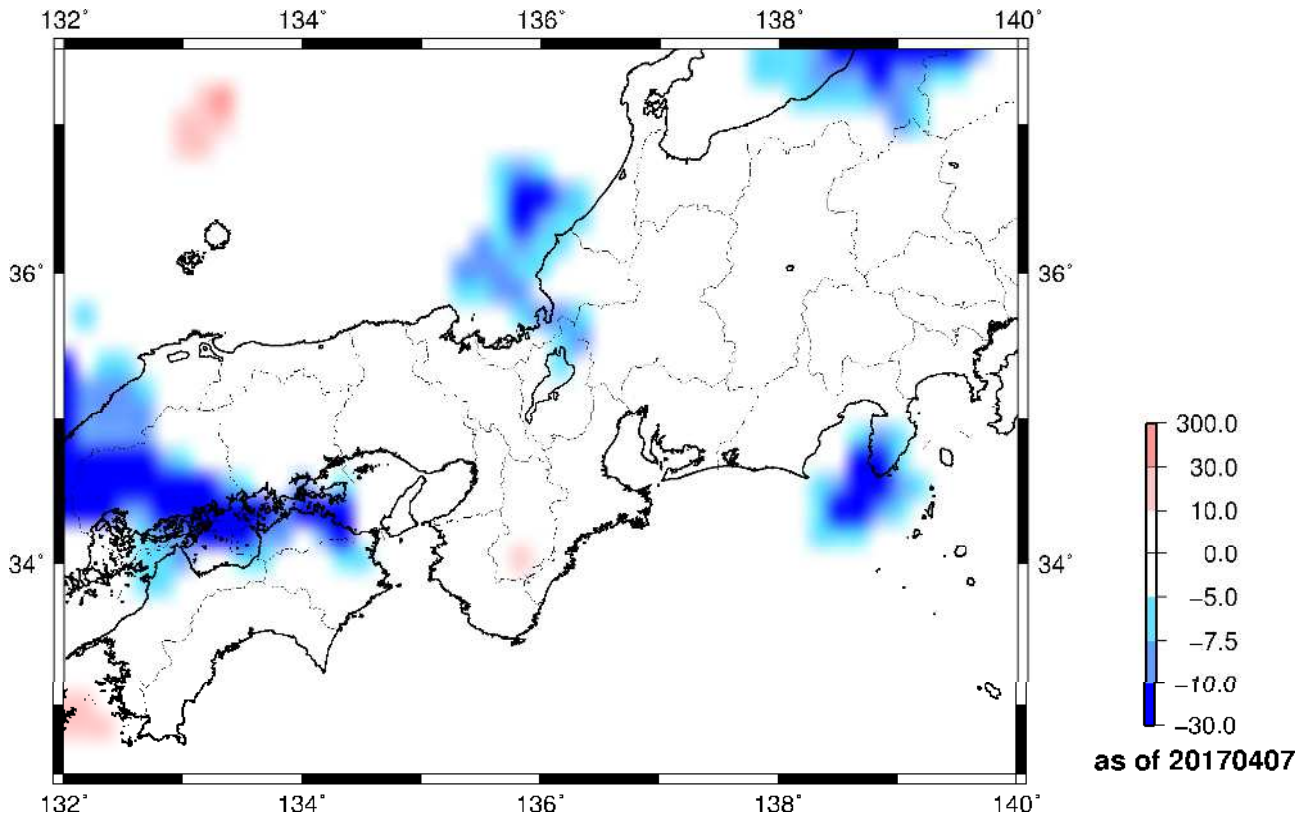
3月に日本列島およびその周辺で発生した地震のうち、マグニチュード5を超える地震は5個発生しました。これは偶然にも先月、先々月と同じ数となっています。やはり全体としては低調な地震活動が続いています。3月で最も大きかった地震は12日に福島沖で発生したマグニチュード5.4の地震でした。繰り返しになりますが、東日本大震災の余震活動は10年、20年と続きます。

2017/3/1 0:00 -- 2017/3/31 23:59

**中部・近畿・中国・四国地方の地下天気図®**

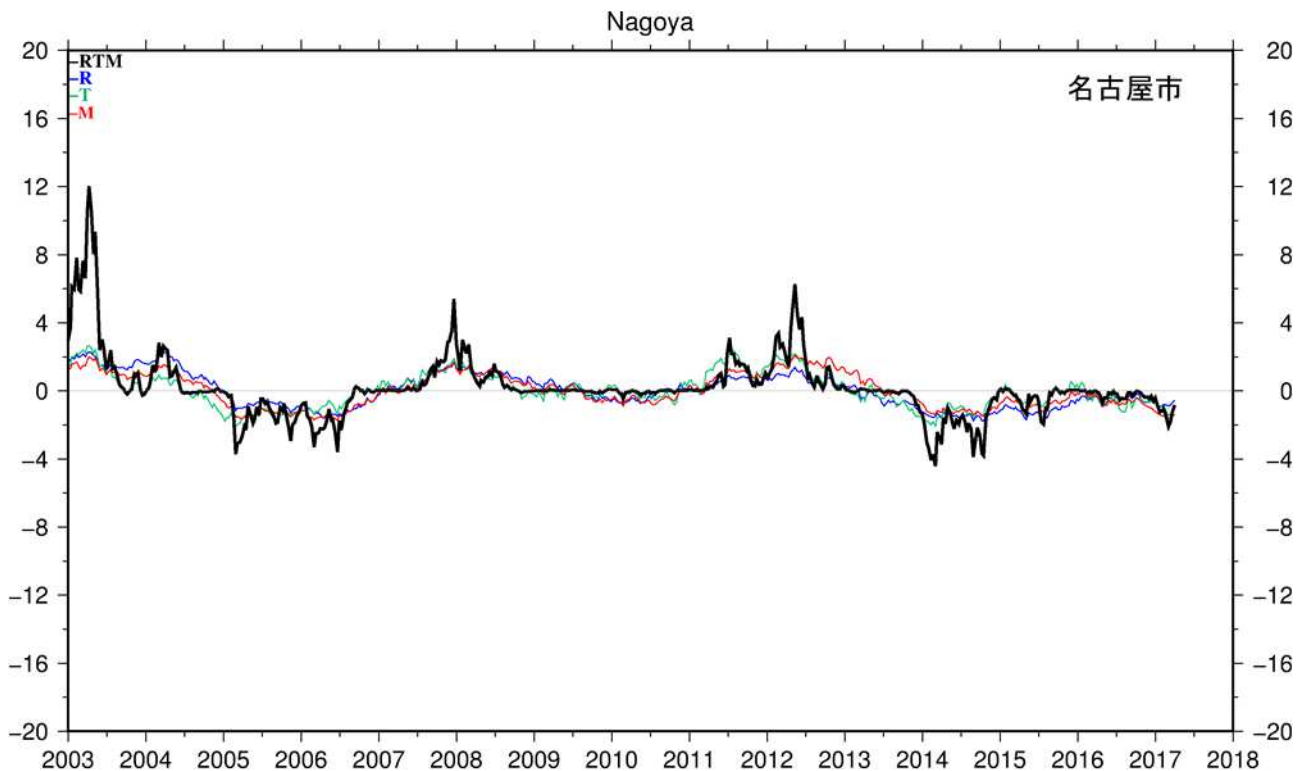
2月27日のニュースレターに引き続き、中部・近畿・中国・四国地方の地下天気図です。この地下天気図解析では、2001年以降の16年間に及ぶ地震データを使っているため、比較的短期間では大きな変化をしにくいのが特徴です。

次のページは4月7日時点の地下天気図です。



前回のニュースレターと大きく変化していない事がわかりました。また今後、各都市における地震活動変化（RTM 値の変化）もお見せしていきたいと思えます。

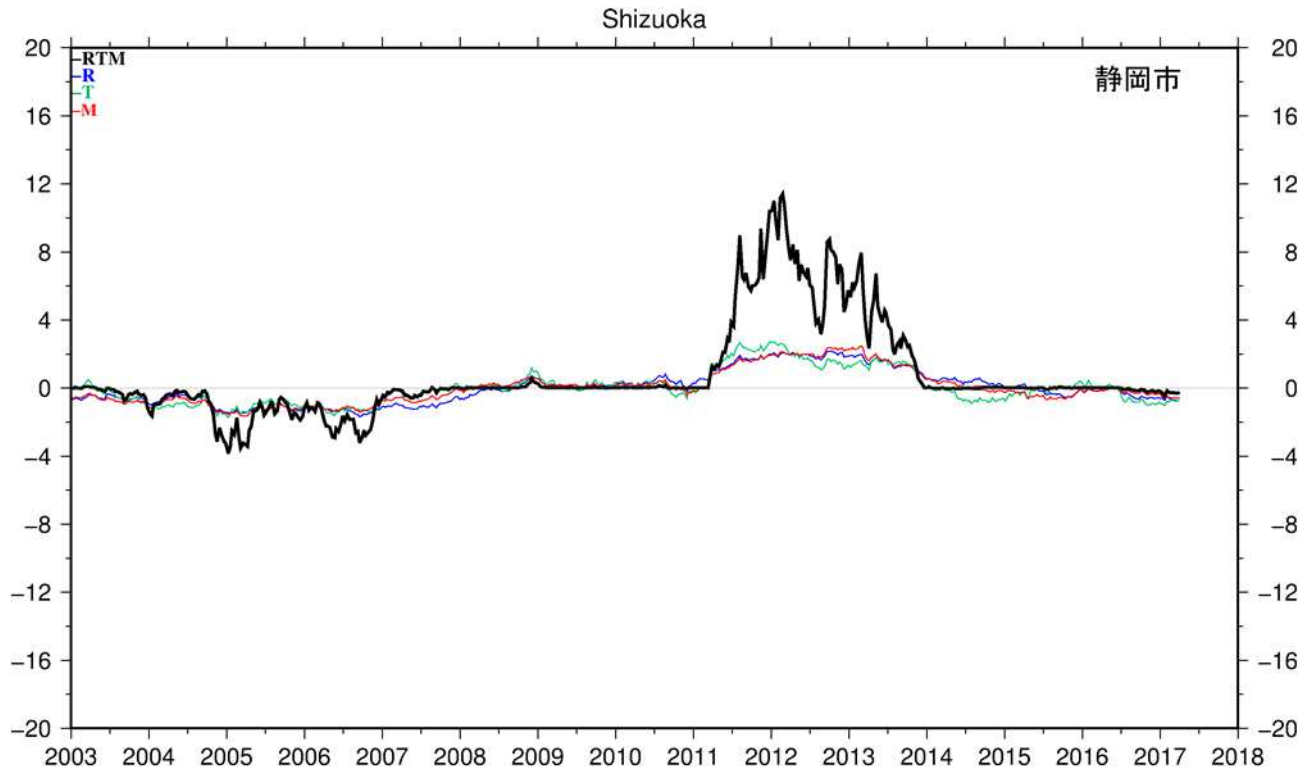
次の図は名古屋市における地震活動（RTM 値）の推移です。グラフが中央から上に行っているのが地震活動活性化、下に下がると地震活動静穏化となります。



現状では名古屋市には異常が出ていない事がわかります。



次のグラフは静岡市における地震活動（RTM 値）の推移です。



2011年ごろからグラフが上側に振れているのがわかります。これは東日本大震災を契機に中部地方の地震活動が活発化した事を表しています。2011年3月15日には富士山南西でマグニチュード6.4の地震(静岡県東部地震)が発生し、富士宮市で震度6強を観測しました。さらに8月1日には駿河湾内でマグニチュード6.2の地震が発生した事などの影響によるものです。

現在の静岡市のデータには異常が出ていない事がわかりました。